

つくば市行政改革大綱実施計画（行政改革マニフェスト）
平成24年度実績・取組状況（概要版）

企画部行政経営課

1 実施計画（行政改革マニフェスト）の概要

実施計画（行政改革マニフェスト）は、平成22年度から平成26年度までの5か年間を計画期間として平成22年4月に策定したものです。

本計画は、126項目の実施項目で構成し、それぞれの項目に可能な限り数値目標を取り入れております。

なお、各項目にある数値目標や削減額等は原則的に平成20年度を基準としています。

2 平成24年度の実績状況

計画に位置付けられている126項目の実施項目のうち、平成24年度末までに119の項目に取り組み、着手率は94.4%となり、平成24年度の効果額は、約9億7,636万円となりました。

平成24年度に取り組んだ主な項目は、市民との協働実証による最先端の低炭素まちづくりの推進、市立小中学校適正規模化の検討、下水道への加入促進などとなっています。

3 削減（効果）額

歳入・歳出別で見ると、歳入に係る効果額(収入増額)は、3億7,434万円、歳出に係る削減額は、6億202万円になりました。

平成24年度の効果額は、各実施項目の取組前と比較すると9億7,636万円となりました。

平成24年度の削減（効果）額の主なもの

歳入に係るもの

- ・下水道への加入促進.....使用料増収額 94,206千円
- ・企業誘致による税収の確保・雇用の確保.....税増収見込 87,230千円
- ・市税等の滞納額の削減.....租税債権管理機構移管による削減額 70,373千円

歳出に係るもの

- ・定員適正化計画の推進.....削減額 920,181千円
- ・医療費適正化の推進.....レセプト内容点検による効果額 87,189千円
- ・経常経費の削減.....削減額 390,290千円

平成24年度に取り組んだ主な項目

・市民との協働実証による最先端の低炭素まちづくりの推進

平成24年3月、環境モデル都市に選定

「つくば環境スタイル」のもと、

・国土技術政策総合研究所が「総合技術開発プロジェクト」の1つとして共同溝を利用した水素供給実験を実施

・(株)インテグラルが「スマートワトソン君」のシステムを用いて、温湿度及び電力量の見える化実験を実施

・市立小中学校適正規模化の検討

「つくば市学校等適正配置計画について(指針)」の考え方と小中一貫教育の理念を踏まえ、

・平成24年4月 市内初の施設一体型小中一貫校として春日学園開校

・平成24年12月 つくば市議会定例会において、山口小学校の廃止に関するつくば市立小学校設置条例の一部改正についてが可決され、平成25年4月1日に山口小学校が北条小学校と統合

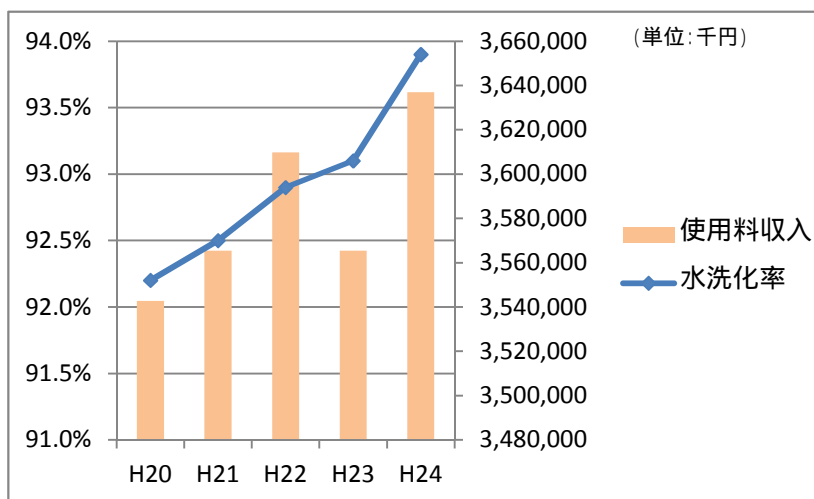
・下水道への加入促進

平成24年度実績

・水洗化率: 93.9%

・使用料収入: 3,636,954千円

(H20年度比) 94,206千円増

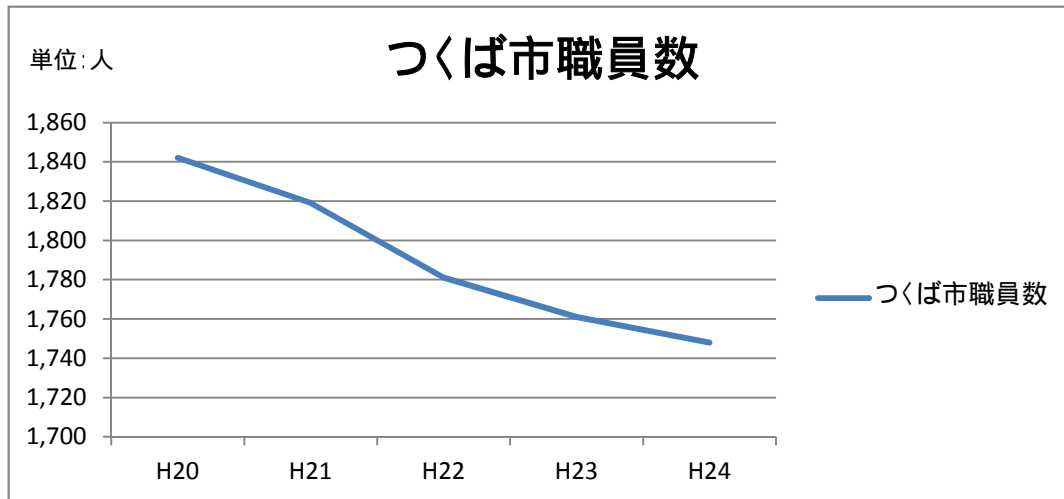


・定員適正化計画の推進

「定員管理指針」(H23.3月策定, 期間H23年度からH27年度)に基づき,

・13人減 削減額:152,964千円(前年比)

職員数:1,748人(教育長を除く 退職50人, 採用37人)



・旧庁舎跡地利用の検討

・震災被害により危険性が高く, 谷田部小学校用地拡大のため, 谷田部庁舎の撤去工事に着手

・平成23年度撤去予定であった荃崎庁舎については, 荃崎地区区会連合会と荃崎庁舎跡地利用に関する打合せを平成25年2月に開催

・待機児童解消に向けた民間保育所の拡充及び公立保育所民営化の検討

・つくばこどもの森保育園(定員90人)及びみどりの保育園(定員80人)を創設

・増築等により, さくら学園保育園(100人), まつぼっくり保育園(20人)及びかつらぎ第二保育園(30人)定員を拡充

・品質管理の国際標準規格 (ISO9001) の認証維持と適切な運営

「ISO9001つくば市行政サービス向上システム」に代わり、「つくば市マネジメントシステム (TMS)」として運用を開始

・市民アンケート窓口調査を10月, 2月に実施し, 満足度はそれぞれ87.7%, 87.5%であり, 目標の86.3%を達成することができた。

・出資法人の経営健全化

・(財)つくば都市振興財団については, 平成25年2月に県の公益認定を受け, 新たな役員, 組織のもと, 4月1日より公益社団法人つくば文化振興財団として運営開始に向け準備を進めた。

・つくば市国際交流協会については, 平成25年2月に一般財団法人として法人登記を完了し, 4月運営開始に向け準備を進めた。